

PRIMERGY TX300 S5 ご使用上の注意

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品に添付されておりますマニュアル類の内容に更新事項がございますので、マニュアルをご覧になる場合に下記に示します内容を合わせてお読みくださいますようお願いいたします。

2009 年 10 月
富士通株式会社

1. 「PRIMERGY TX300 S5 ユーザーズガイド : B7FH-6351-01」への更新事項

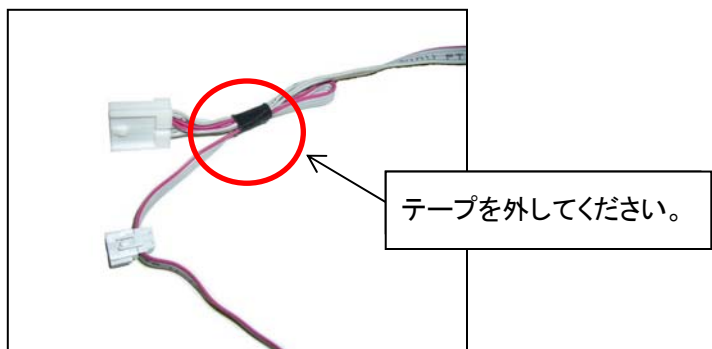
2 章「2.7.4 DVD-RAM ドライブユニット／ローカルサービスパネルの取り付け手順」

9. ローカルサービスパネルを搭載した場合、サーバ本体内部から電源ケーブルを引き出し、接続します。(関連ページ 83)

追加

POINT

- ▶ 内蔵ハードディスクユニットベイ変換機構(PGBBC110)に取り付ける場合、ローカルサービスパネルへの電源ケーブルを束ねているテープを外してから接続してください。



4 章「4.3 高機能無停電電源装置 (UPS) の使用」(関連ページ 131)

追加

4.3.3 「UPS スケジュール運転におけるファンテスト設定」

ファンテスト時刻(※)直後に AC 復電によりサーバが起動した場合、システムイベントログに電源ファンの「prefailure 検出」及び「正常状態への復旧」のログが格納されます。

スケジュール運転において、UPS からの電源供給再開を 23 時付近(22:50~23:10)に設定して運用している場合は、「ファンテスト時刻」を電源供給再開から 10 分以上離れた時刻(例 23:30)へ変更してください。

※サーバのファン動作状態を調査するためのファンテストが 1 日 1 回実行されます。「ファンテスト時刻」のデフォルト値は 23:00 に設定されています。「ファンテスト時刻」の設定については「リモートマネジメントコントローラユーザーズガイド」の「4 章 情報の参照と設定」を参照ください。

付録「A 本体仕様」(関連ページ 180-182)

A.1 SAS モデル

追加

「■各型名における仕様」に以下が追加となります。

● 2.5 インチタイプ (タワータイプ)

タイプ名称	型名	標準搭載 CPU	標準搭載メモリ	標準搭載ハードディスク (RAID 構成)
Windows Server 2008 Standard (32-bit) アレイタイプ	PGT3052437	インテル® Xeon® プロセッサ E5502	2GB × 1	147GB × 1 (RAID 0)
Windows Server 2008 Enterprise バンドルタイプ	PGT3052447			147GB × 1 (RAID 0)
Linux インストール代行サービス バンドルタイプ	PGT30524L7			147GB × 1 (RAID 0)

● 2.5 インチタイプ (ラックタイプ)

タイプ名称	型名	標準搭載 CPU	標準搭載メモリ	標準搭載ハードディスク (RAID 構成)
Windows Server 2008 Standard (32-bit) アレイタイプ	PGT3052438	インテル® Xeon® プロセッサ E5502	2GB × 1	147GB × 1 (RAID 0)
Windows Server 2008 Enterprise バンドルタイプ	PGT3052448			147GB × 1 (RAID 0)
Linux インストール代行サービス バンドルタイプ	PGT30524L8			147GB × 1 (RAID 0)

A.2 SAS モデル (Windows Storage Server 2003 R2 タイプ)

訂正

「本体仕様表」の下記項目を以下のように読み替えてください。

項目		機能・仕様	
型名		PGT30527G3	PGT30524G7
内蔵ハードディスク	システム域	73.4GB (10krpm) × 2 (RAID1)	146.8GB (10krpm) × 2 (RAID1)

2. 「ServerView ユーザーズガイド:B7FH-6251-01」への訂正事項

付録 A.2 SVOM のトラブルシューティング

■ドメインコントローラへの昇格、ドメインコントローラからの降格

●タスクの再設定が必要な場合 (関連ページ 276)

訂正

当箇所に記載の手順は無効な手順です。この処理を実施しても、設定されたタスクが正常に動作しません。

ドメインコントローラへの昇格、ドメインコントローラからの降格に伴い、タスクの再設定を行う場合には、下記の訂正手順を必ず実施願います。

誤)

5. SVOM のタスクの再スケジュールを行います。

- 1 管理者権限を持ったアカウントで、対象 SVOM が動作しているサーバ/パソコンにログインします。

2 次のバッチファイルを実行します。

- IIS の場合

C:\inetpub\scripts\ServerView\Tools\SVSqlJobsSchtasks.bat

- Apache2.0 / Apache2.2 の場合

C:\Program Files\Fujitsu\F5FBFE01\ServerView Service\scripts\ServerView\Tools\SVSqlJobsSchtasks.bat

「タスクの設定が正常に終了しました。」と表示されれば終了です。

上記メッセージが表示されない場合や、エラーが表示された場合は、再度バッチファイルを実行してください。

正)

5. SVOM のタスクの再スケジュールを行います。

- 1 インターネット情報ページ (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>) を表示し、「ダウンロード」→「ダウンロード検索」の順にクリックして、対象の機種最新の「ServerView Console / Operations Manager for Windows 用 データベースログ肥大化対処ツール」をダウンロードしてください。
- 2 ダウンロードしたファイルを解凍します。
- 3 展開後、下記に格納されたファイルを解凍します。
Tools\FNS-18761\FNS-18761.zip
- 4 管理者権限を持ったアカウントで、対象 SVOM が動作しているサーバ/パソコンにログインします。
- 5 手順 3 にて作成された SVSqlJobsSchtasks.bat を対象 SVOM が動作しているサーバ/パソコンで実行してください。「タスクの設定が正常に終了しました。」と表示されれば終了です。上記メッセージが表示されない場合や、エラーが表示された場合は、再度バッチファイルを実行してください。
- 6 手順完了後は展開されたフォルダ及び、使用したバッチファイルは削除してかまいません。

3. 「ソフトウェアガイド: B7FH-6361-01」への訂正事項

2.1.3 BIOS の設定 (関連ページ 25)

訂正

誤)

■ SVIM を使用して Windows Server 2008 (32-bit) をインストールする場合

SVIM を使用して Windows Server 2008 (32-bit) をインストールするとき、コンフィグレーションファイルを USB メモリに保存する場合は、「Boot」メニューで USB メモリデバイスを外してください。

正)

■ SVIM を使用して Windows Server 2008 をインストールする場合

SVIM を使用して Windows Server 2008 をインストールするとき、コンフィグレーションファイルを USB メモリに保存する場合は、「Boot」メニューで USB メモリデバイスを外してください。

3.2 ガイドモード (関連ページ 43)

訂正

誤)

 **重要**

- ▶ Windows Server 2008 x64 をインストールする場合、コンフィグレーションファイルをフロッピーディスクまたは USB メモリに保存する場合は、BIOS セットアップユーティリティで Boot の設定が必要です。設定方法については、サーバ本体の『ユーザズガイド』の「3.3 事象別 BIOS 設定」をご覧ください。

正)



- ▶ Windows Server 2008 x64 をインストールする場合、コンフィグレーションファイルをフロッピーディスクに保存する場合は、BIOS セットアップユーティリティで Boot の設定が必要です。設定方法については、サーバ本体の『ユーザーズガイド』の「3.3 事象別 BIOS 設定」をご覧ください。
- ▶ Windows Server 2008 をインストールする場合、コンフィグレーションファイルを USB メモリに保存する場合は、BIOS セットアップユーティリティの「Boot」メニューで USB メモリデバイスを外してください。

- 以上 -